

**講座
14**

大正期の短編小説を読み直す

【定員】72名 【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『歴史・文学・人間学』文学 【時間】毎回 10時30分～ 12時00分 (計12回)

概要

日本の近代文学史において、多くの読者に読まれてきた短編小説のいくつかを、あらためて21世紀の視点で読みなおし、現代的な読み方の可能性を探っていきます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	田村俊子『女作者』、岡本綺堂『子供役者の死』	東京大学名誉教授 小森 陽一
2	10/11(水)		上司小剣『鱧の皮』	
3	10/25(水)		佐藤春夫『西班牙犬の家』、里見弴『銀二郎の片腕』	
4	11/1(水)		広津和郎『師崎行』	
5	11/8(水)		有島武郎『小さき者へ』	
6	11/22(水)		久米正雄『虎』	
7	11/29(水)		芥川龍之介『奉教人の死』	
8	12/6(水)		宇野浩二『屋根裏の法学士』	
9	12/13(水)		岩野泡鳴『猫八』	
10	1/10(水)		内田百閒『花火』、菊池寛『入れ札』	
11	1/24(水)		川端康成『葬式の名人』、葛西善蔵『椎の若葉』	
12	1/31(水)		葉山嘉樹『淫売婦』	

**連絡
事項**

テキスト：『日本近代短篇小説選』（大正篇） 岩波文庫 緑191-3
各回の作品を事前に読んでご参加いただければ、より深くご理解いただけます。